

第5回行政支出点検・行政改革推進委員会 における欠席委員からの御意見

<佐藤 亜希子 委員>

<新たな「山形県行政改革推進プラン」(素案)について>

新たな「山形県行財政改革推進プラン」(素案)に、図式化された「工程表」が盛り込まれたことにより、単年度におけるそれぞれの取り組みや進捗状況の把握がより明確な状態になることを期待しています。

ただ、今回掲げた目標指標(特に数値部分)が、本当に実現可能なものであるかということも工程表をもとに検証を重ねていく必要があると思われます。

少子高齢化や人口減少など、地方で暮らし続けることに対して、不安を抱える県民は多いと思います。その分、県政に対する期待は今後ますます大きくなるとともに、求められるニーズも多様化してくると思います。刻々と変化する多様なニーズや期待に迅速に対応していけるような体制整備も必要になってくると思います。

ここまで多くの意見を取りまとめ、より分かりやすい形でプラン素案が示されたことを大きく評価したいと思います。

第5回行政支出点検・行政改革推進委員会 における欠席委員からの御意見

<玉谷 貴子 委員>

<新たな「山形県行政改革推進プラン」(素案)について>

○ 県と市町村との連携・協働について

新しいプランで最も重要な部分は、県と市町村との連携だと思えます。これがうまくいっているところは、全国でも少ないのではないのでしょうか。総合支庁が果たす役割・期待は大きいので、しっかり取り組んでいただきたいと思います。

山形県は、県内が4つの地域に分かれている地域性があります。

それぞれの地域の強みを見つける、活かしていく、そして繋いでいくのが県の役割ではないかと思えます。各市町村と一緒に考えていってもらいたいと思えます。

○ 県内外への積極的な情報発信について

情報発信に係る基本指針の策定は望ましいことだと思えます。

策定にあたっては、「・・・してはいけない」と何かを禁止するものではなく、流動化している世の中にも柔軟に対応できるような、広がりのある、前向きで展望の見える内容となることを期待します。

第5回行政支出点検・行政改革推進委員会 における欠席委員からの御意見

<玉谷 貴子 委員>

<公社等の総点検について>

今後の方向性については、いずれも「継続」とすることが妥当
だと思います。

どの公社の事業や支援も内容をよく承知していますし、その存在
を身近に感じています。県内の中小企業をはじめとして、産業振興
にとって必要不可欠だと思いますので、引き続き、役割をしっかり
果たしていただくことを期待しています。